

民 生 環 境 協 議 会 協 議 事 項

日時	令和 5 年 7 月 21 日 (金)
	午前 10 時
場所	第三委員会室

○ 所管事項の報告について

- 1 令和 4 年度大気環境測定結果について
- 2 令和 4 年度ダイオキシン類濃度測定結果について

令和4年度大気環境測定結果について

大気汚染防止法第22条に基づき、市内の大気環境を常時監視するものである。

1 大気汚染常時監視（テレメータシステム）

一般環境大気測定局4局（八戸小学校・八戸特別地域気象観測所・根岸小学校・桔梗野小学校）、自動車排出ガス測定局1局（六日町）において測定を実施した。（資料－1）

環境基準が定められている6物質のうち、光化学オキシダント（八戸小学校1地点）を除き環境基準を達成した。

光化学オキシダントについては、昼間の1時間値の最高が0.074ppmと環境基準値の0.06ppmを超過した。（資料－2）

2 有害大気汚染物質モニタリング調査

八戸小学校1地点において測定を実施した。

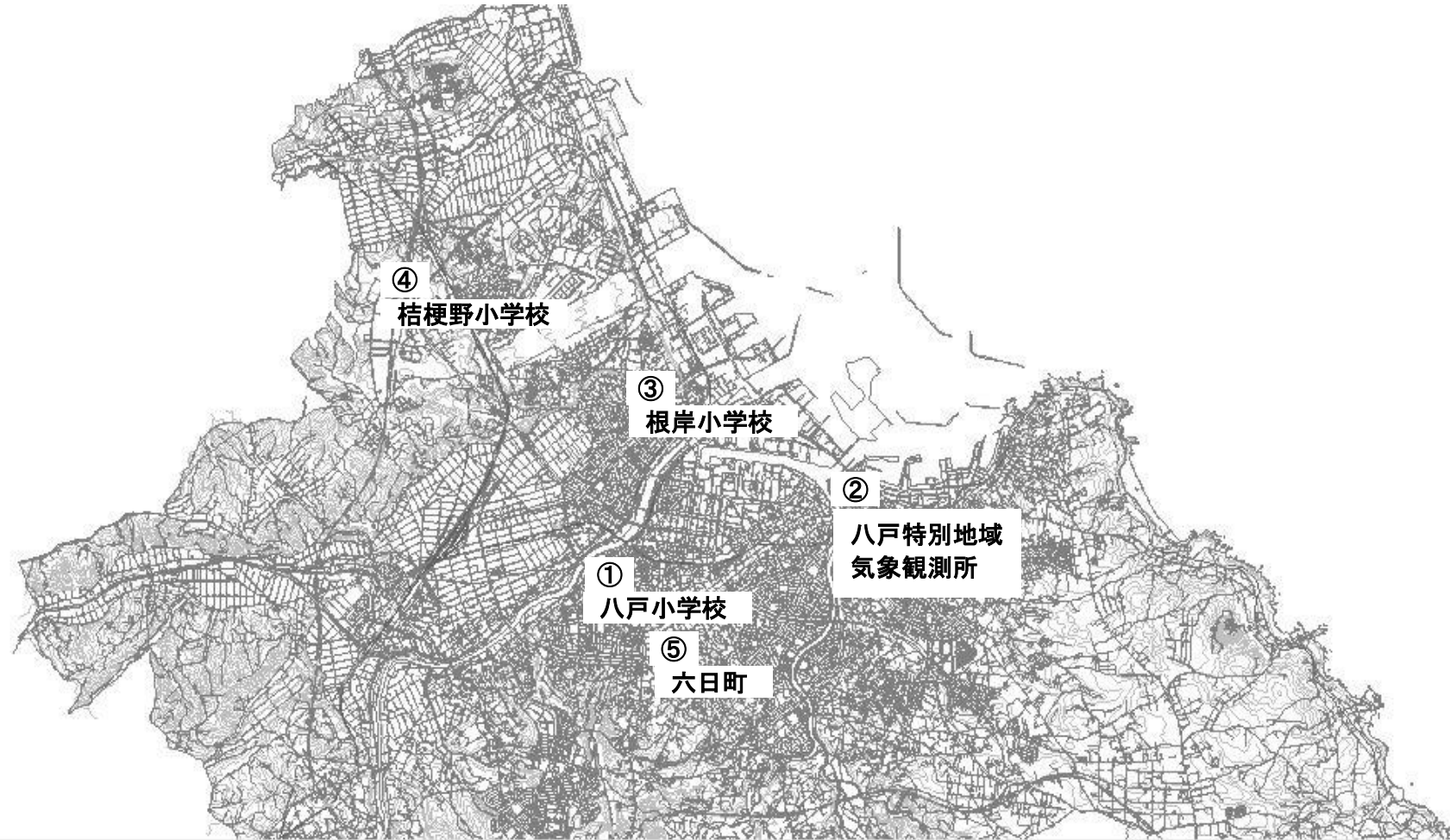
環境基準が定められている4物質について、すべて環境基準を達成した。また、指針値が設定されている9物質について、すべて指針値を下回った。（資料－3）

3 大気環境中における重金属類調査（ニッケル化合物）

本調査は重金属類の大気中濃度を詳細に把握することを目的として、八戸小学校及び根岸小学校の2地点において測定を実施した。

測定結果について、2地点とも指針値を下回った。（資料－3）

大気環境測定地点図



令和4年度大気汚染常時監視

1. 二酸化硫黄

測定局区分	測定局名	年度	日平均値 (年間)	1時間値の 最高値	日平均値の 年間2%除外値	短期的評価	長期的評価
			(ppm)	(ppm)	(ppm)	適(○)、否(×)	適(○)、否(×)
一般環境 大気測定局	八戸小学校	H30	0.002	0.045	0.009	○	○
		R1	0.001	0.050	0.006	○	○
		R2	0.001	0.027	0.004	○	○
		R3	0.001	0.037	0.004	○	○
		R4	0.001	0.027	0.004	○	○
	八戸特別地域 気象観測所	H30	0.001	0.024	0.004	○	○
		R1	0.001	0.026	0.005	○	○
		R2	0.001	0.021	0.003	○	○
		R3	0.001	0.029	0.003	○	○
		R4	0.001	0.023	0.003	○	○
	根岸小学校	H30	0.002	0.051	0.009	○	○
		R1	0.002	0.036	0.006	○	○
		R2	0.001	0.052	0.005	○	○
		R3	0.001	0.046	0.007	○	○
		R4	0.001	0.052	0.005	○	○
	桔梗野小学校	H30	0.001	0.035	0.004	○	○
		R1	0.001	0.024	0.003	○	○
		R2	0.001	0.016	0.002	○	○
		R3	0.001	0.020	0.003	○	○
		R4	0.001	0.014	0.002	○	○

- (注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において、日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、すべての測定時間において1時間値が0.1ppm以下である場合。
 2 長期的評価による適(○)は、日平均値の上位2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、年間を通じて日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しない場合。

2. 二酸化窒素

測定局区分	測定局名	年度	日平均値の 年間98%値	環境基準
			(ppm)	適(○)、否(×)
一般環境 大気測定局	八戸小学校	H30	0.018	○
		R1	0.016	○
		R2	0.016	○
		R3	0.015	○
		R4	0.015	○
	八戸特別地域 気象観測所	H30	0.016	○
		R1	0.018	○
		R2	0.017	○
		R3	0.013	○
		R4	0.014	○
	根岸小学校	H30	0.016	○
		R1	0.017	○
		R2	0.019	○
		R3	0.015	○
		R4	0.014	○
	桔梗野小学校	H30	0.011	○
		R1	0.009	○
		R2	0.013	○
		R3	0.011	○
		R4	0.010	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	H30	0.023	○
		R1	0.028	○
		R2	0.023	○
		R3	0.023	○
		R4	0.021	○

- (注) 1 環境基準の適(○)は、1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下である場合。

3. 浮遊粒子状物質

測定局区分	測定局名	年度	日平均値 (年間)	1時間値の 最高値	日平均値の 年間2%除外値	短期的評価	長期的評価
			(mg/m^3)	(mg/m^3)	(mg/m^3)	適(○)、否(×)	適(○)、否(×)
一般環境 大気測定局	八戸小学校	H30	0.011	0.141	0.038	○	○
		R1	0.010	0.117	0.030	○	○
		R2	0.008	0.102	0.030	○	○
		R3	0.006	0.084	0.023	○	○
		R4	0.006	0.089	0.019	○	○
	八戸特別地域 気象観測所	H30	0.011	0.129	0.036	○	○
		R1	0.010	0.122	0.029	○	○
		R2	0.009	0.134	0.027	○	○
		R3	0.009	0.180	0.027	○	○
		R4	0.010	0.093	0.023	○	○
	根岸小学校	H30	0.012	0.159	0.039	○	○
		R1	0.011	0.105	0.036	○	○
		R2	0.011	0.106	0.029	○	○
		R3	0.011	0.121	0.026	○	○
		R4	0.012	0.116	0.029	○	○
	桔梗野小学校	H30	0.012	0.115	0.037	○	○
		R1	0.011	0.103	0.038	○	○
		R2	0.011	0.149	0.033	○	○
		R3	0.008	0.099	0.026	○	○
		R4	0.009	0.082	0.026	○	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	H30	0.015	0.118	0.045	○	○
		R1	0.012	0.100	0.038	○	○
		R2	0.011	0.103	0.033	○	○
		R3	0.008	0.094	0.023	○	○
		R4	0.009	0.110	0.026	○	○

- (注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、すべての測定時間において1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下である場合。
 2 長期的評価による適(○)は、日平均値の上位2%除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、年間を通じて日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超える日が2日以上連続しない場合。

4. 微小粒子状物質

測定局区分	測定局名	年度	日平均値の 年間98%値	年平均値	短期的評価	長期的評価
			($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	適(○)、否(×)	適(○)、否(×)
一般環境 大気測定局	根岸小学校	H30	31.8	10.2	○	○
		R1	24.8	9.5	○	○
		R2	28.3	8.2	○	○
		R3	(17.0)	(7.1)	※	※
		R4	(23.7)	(9.2)	※	※
自動車排出 ガス測定局	六日町	H30	31.5	10.7	○	○
		R1	21.8	9.0	○	○
		R2	20.7	8.2	○	○
		R3	16.7	7.3	○	○
		R4	19.6	8.2	○	○

- (注) 1 短期基準に関する評価による適(○)は、測定結果の年間98パーセンタイル値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下である場合。
 2 長期基準に関する評価による適(○)は、測定結果の年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下である場合。
 ※ 機器故障により有効測定日が250日に満たないため評価の対象としない。()内の数値は参考値。

5. 一酸化炭素

測定局区分	測定局名	年度	日平均値 (年間)	8時間平均値が 20ppmを超えた回数	日平均値の 年間2%除外値	短期的評価	長期的評価
			(ppm)	(回)	(ppm)	適(○)、否(×)	適(○)、否(×)
自動車排出 ガス測定局	六日町	H30	0.3	0	0.6	○	○
		R1	0.4	0	0.7	○	○
		R2	0.3	0	0.6	○	○
		R3	0.3	0	0.5	○	○
		R4	0.3	0	0.4	○	○

- (注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において、日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下である場合。
 2 長期的評価による適(○)は、日平均値の上位2%除外値が10ppm以下であり、かつ、年間を通じて日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しない場合。

6. 光化学オキシダント

測定局区分	測定局名	年度	昼間の1時間値 の最高値	環境基準
			(ppm)	適(○)、否(×)
一般環境 大気測定局	八戸小学校	H30	0.092	×
		R1	0.100	×
		R2	0.072	×
		R3	0.068	×
		R4	0.074	×

(注) 1 環境基準の適(○)は、1時間値の最高値が0.06ppm以下である場合。
 2 「昼間」とは、5時から20時までの時間。

〈参考〉非メタン炭化水素

測定局区分	測定局名	年度	6～9時における 平均値(年間)
			(ppmC)
一般環境 大気測定局	八戸小学校	H30	0.25
		R1	0.28
		R2	0.29
		R3	0.13
		R4	0.14
自動車排出 ガス測定局	六日町	H30	0.12
		R1	0.10
		R2	0.09
		R3	0.11
		R4	0.13

(注) 1 環境省の指針として光化学オキシダントの生成に関係があるとされる非メタン炭化水素(NMHC)について、午前6時から午前9時までの3時間の平均値0.20～0.31ppmCが示されている。

令和4年度有害大気汚染物質モニタリング調査結果

測定局: 八戸小学校

調査対象物質	年平均値	環境基準	単位
ベンゼン	0.62	3以下	$\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	0.043	130以下	
テトラクロロエチレン	0.033	200以下	
ジクロロメタン	0.60	150以下	
アクリロニトリル	0.025	(2以下)	
塩化ビニルモノマー	0.011	(10以下)	
クロロホルム	0.14	(18以下)	
1,2-ジクロロエタン	0.13	(1.6以下)	
1,3-ブタジエン	0.038	(2.5以下)	
アセトアルデヒド	1.0	—	
酸化エチレン	0.041	—	
ホルムアルデヒド	1.5	—	
水銀及びその化合物	1.9	(40以下)	ng/m^3
ニッケル化合物	7.4	(25以下)	
ヒ素及びその化合物	1.2	(6以下)	
マンガン及びその化合物	18	(140以下)	
塩化メチル	1.4	—	
クロム及びその化合物	8.4	—	
トルエン	1.3	—	
ベリリウム及びその化合物	0.012	—	
ベンゾ[a]ピレン	0.10	—	

()内の数字は指針値

令和4年度 大気中重金属類調査結果

(単位: ng/m^3)

調査対象物質	根岸小学校	八戸小学校	指針値
ニッケル化合物	2.0	2.6	25以下

令和4年度ダイオキシン類濃度測定結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条の規定に基づき市内の「大気」、「公共用水域・地下水」及び「土壌」のダイオキシン類による汚染状況を把握するため常時監視するものである。

1. 大気

市内2地点において測定を4回実施した。測定結果は両地点とも環境基準を達成した。

測定地点	測定結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準
	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	年平均值	
八戸小学校	0.012	0.0096	0.012	0.013	0.012	年平均0.6以下
根岸小学校	0.013	0.011	0.015	0.012	0.013	

2. 公共用水域・地下水

公共用水域の水質4地点、底質1地点及び地下水1地点において測定を1回実施した。測定結果はいずれも環境基準を達成した。

○公共用水域

水 域	測定地点	水質 (pg-TEQ/L)		底質 (pg-TEQ/g)	
		測定結果	環境基準	測定結果	環境基準
五戸川	尻引橋	0.57	1以下	—	150以下
世増ダム貯水池	ダムサイト	0.094		—	
八戸前面海域	St. 4 鮫・白銀前面	0.068		2.6	
	St. 9 北沼前面	0.064		—	

○地下水

測定地点	測定結果 (pg-TEQ/L)	環境基準
大久保地区	0.00018	1以下

3. 土壌

市内1地点において測定を1回実施し、環境基準を達成した。

測定地点	測定結果 (pg-TEQ/g)	環境基準
白銀台地区	0.058	1000以下

※ ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナ - ポリ塩化ビフェニル(Co - PCB)の総和である。

※ 測定結果は毒性等量(TEQ)で示す。